

空の上に、季節は生まれる。



JAL エグゼクティブクラス

SEASONS 誕生。

空を旅するお客様から私たちがお預かりするのは、大切な「時間」。
四季の移ろいもつ豊かな情景の中に感じられる
ゆったりとした「時間」を、空の上で過ごしていただくために
JALはエグゼクティブクラスを新しくします。



JALフリーダイヤル
国際線予約・案内
0120-25-5931

営業時間：8:00-21:00 電話番号はよくお確かめのうえおかけください。

労働界ばかりでなくインテリ層にも反発が強まっている。地域開発が専門の真栄城守貞琉球大学教育学部助教授は、扇動政治家としての大田に危惧を表明した。
「(大田知事は)とにかく基地があるからなにもできないの一点張りです。怖いのはその方向に県民全員を引っ張っていかうとしていることで、県民投票がその表れです。それぞれにいろいろな考え方があっていいわけでしょう。その多様性が大事なのです。ところが県民投票は県民総動員態勢ですね。大政翼賛会でも作ろうとしているかのようなです。賛成に丸をつけないと、村八分にあうのではという勢いです。
多様性を認めるならば基地の整理縮小といっても、さまざまな整理縮小があるわけで、それぞれから案を出してもらい、どれがいいのか議論していくことだと思わのですが、それがまったくありません」

「多数を尊重するのが民主主義だ」

昨年九月に起こった米兵による少女暴行事件以来、大田知事の強硬な姿勢が目立つようになった。九〇年に、『反安保、米軍基地即時全面返還』をスローガンに、革新

統一候補として知事選に出馬、それまで三期十二年続いた現職の西銘順治を破って当選。当選早々、少数与党の悲哀もあつたか、頭痛と眩暈という原因不明の病魔に襲われたと称して、五十数日も登庁せずに休養をとる。

知事としての最初の仕事は、国の機関委任事務である軍用地にかかわる代理署名であった。支持母体である革新陣営や反戦地主の期待をあっさり裏切つて、この新知事は代理署名に応じた。公約違反だと詰め寄る反戦地主たちに対して大田は、

「契約地主とあなたがたと、どっちが多いんだ。多数を尊重するのが民主主義だ」と反論した。

現在でもその事情はまったく変わっていないが、米軍基地に土地を提供しているいわゆる軍用地主は、全部で三万一千三百六十六人いる。このうち二万八千三百六十四人が国と契約をすませている地主で、三千二人が未契約の反戦地主などである。米軍に提供されている土地の九九・八パーセントが契約地主のもので、三千二人の未契約地主の保有する土地は全体の〇・二パーセントに過ぎない。未契約地主は大部分が活動家の一坪地主で、本来の地主(反戦地



此の香り、此の深み。

主)はわずか百十七人しかいない。

先日使用期限が切れたとして、地主の一人が立ち入りを要求して支援者らとともに鉦太鼓を打ち鳴らして大挙して施設内に入った楚辺通信所は、全体として五十三ヘクタールの面積がある。ここの地主は全部で四百四十五人、うち契約地主は立ち入りを要求した一人を除く四百四十四人である。今度返還が日米で合意された普天間飛行場も、契約されている土地が九九・八パーセントで、未契約の土地は〇・二パーセントに過ぎない。

その意味で「多数を尊重するのが民主主義だ」という、大田の発言は正しかったと